

# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社音通 上場取引所 大  
 コード番号 7647 URL <http://www.ontsu.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 岡村 邦彦  
 問合せ先責任者（役職名） 代表取締役副社長（氏名） 仲川 進 (TEL) 06 (6368) 9100  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,412	△3.5	152	52.1	112	104.5	50	113.9
24年3月期第1四半期	4,573	△6.4	100	30.5	55	24.0	23	△62.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 54百万円 (63.8%) 24年3月期第1四半期 32百万円 (△57.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.27	—
24年3月期第1四半期	0.13	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	12,396	3,327	25.7
24年3月期	11,481	3,304	27.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,190百万円 24年3月期 3,174百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.23	—	0.18	0.41
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.18	—	0.18	0.36

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,942	△0.7	180	1.8	101	3.8	43	488.7	0.23
通期	18,364	3.5	432	34.6	274	56.2	120	417.8	0.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無  
 新規 - 社 ( - ) 、除外 - 社 ( - )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無  
 ④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	185,876,645株	24年3月期	185,876,645株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	791,503株	24年3月期	789,403株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	185,086,229株	24年3月期1Q	185,097,822株

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災被害の復興関連需要などから国内需要が堅調に推移するも、緩やかに持ち直しつつあります。

当社グループにおきましては、食料品・生活雑貨小売事業部門及びカラオケ関係事業部門を中核として、引き続き経営基盤の強化に努めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,412百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益は152百万円（前年同四半期比52.1%増）、経常利益は112百万円（前年同四半期比104.5%増）、四半期純利益は50百万円（前年同四半期比113.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①食料品・生活雑貨小売事業部門

当事業部門は、総合100円ショップ「FLET'S」及び「百圓領事館」ならびに食品スーパー「Fマート」を運営しております。

当第1四半期連結累計期間における新規出店店舗は、フレッツ福島店（大阪市福島区）、フレッツ西武園店（埼玉県所沢市）、フレッツ江坂公園店（大阪府吹田市）ならびにフレッツ香里ヶ丘店（大阪府枚方市）の4店舗であり、当第1四半期連結会計期間末日現在、「FLET'S」を直営店舗53店舗、FC店舗4店舗、「百圓領事館」を直営店舗31店舗、FC店舗2店舗、「Fマート」を直営店舗5店舗の合計95店舗を運営しております。

当連結会計年度においては20店舗の新規出店を計画しており、引き続き、フレッツ西島店（大阪市此花区、7月13日）、フレッツ相模原若松店（相模原市南区、8月中旬）、フレッツ塚原店（大阪府高槻市、8月下旬）ならびに百圓領事館横須賀中央店（神奈川県横須賀市、9月上旬）のオープンを予定しております。

また、既存店におきましても、小規模のリニューアル工事や売場のレイアウト変更などを実施して飽きのこない売り場環境を整えてまいりました。

店舗運営面におきましては、食料品の粗利率の改善を進めるとともに、食料品と比較して粗利率の高い雑貨商品の構成比を大きくするなど、品揃えの見直しも計画的に進めると同時に、経費の削減などにも引き続き取り組んでまいりました。

この結果、売上高は3,433百万円（前年同四半期比4.7%減）、セグメント利益（営業利益）は77百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。

#### ②カラオケ関係事業部門

当事業部門は、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸、卸売事業を中核事業とし、業務用ゲーム機器賃貸等事業も含んでおります。

カラオケ事業におきましては、業務用カラオケメーカー2社の両社より商品の供給を受けており、カラオケ機器の導入提案のみならず、カラオケ店出店候補物件の紹介や内装提案なども手がけることにより、得意先に対するワンストップサービスの実現を目指しております。そのため、不動産事業者、ビルオーナーならびにビル管理会社などに対する営業の強化などにも取り組んでまいりました。

また、業務用ゲーム機器賃貸等事業におきましては、景気低迷の影響などから業務用アミューズメント市場の縮小傾向が続く中、不採算ロケーションの見直しや経費削減を進めております。

この結果、売上高は731百万円（前年同四半期比1.5%減）、セグメント利益（営業利益）は74百万円（前年同四半期比87.7%増）となり、セグメント利益は前年同四半期比で大幅な増加となりました。

#### ③スポーツ事業部門

当事業部門は、スポーツクラブ「JOYFIT」を3店舗、ホットヨガスタジオ「LAVA」を1店舗運営しております。

スタジオプログラムの質の向上と、自社スタッフの教育によるサービスレベルの向上に引き続き取り組んでおりますが、新規入会者数が前年実績を上回るとともに、新規入会者を対象としたオリエンテーションの充実などにより入会後の定着率も高水準で推移したため、会員数が増加いたしました。

この結果、売上高は119百万円（前年同四半期比6.2%増）、セグメント利益（営業利益）は11百万円（前年同四半期比1,639.6%増）となり、セグメント利益は前年同四半期比で大幅な増加となりました。

④ I P事業部門

当事業部門は、店舗及び住宅の賃貸ならびにコインパーキングの運営をしております。

当第1四半期連結累計期間における賃貸店舗、賃貸住宅ならびにコインパーキングの新規設置はなく、当第1四半期連結会計期間末日現在30ヵ所333車室のコインパーキングを運営しております。

コインパーキングの運営におきましては、近隣のコインパーキングとの競合状況や利用実績などを細かく分析することによりきめ細かな運営をした結果、増収となりました。

当事業部門全体では、売上高は127百万円（前年同四半期比10.4%増）、セグメント利益（営業利益）は7百万円（前年同四半期比70.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は12,396百万円（前連結会計年度末比915百万円の増加）となりました。

流動資産は4,735百万円（前連結会計年度末比980百万円の増加）となりましたが、これは、主として現金及び預金が876百万円、商品及び製品が89百万円が増加したことなどによります。

また、固定資産は7,581百万円（前連結会計年度末比57百万円の減少）となりましたが、これは、主として賃貸資産（純額）が61百万円増加したものの、繰延税金資産が46百万円、建物及び構築物（純額）が37百万円、建設協力金が18百万円減少したことによります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債総額は9,069百万円（前連結会計年度末比892百万円の増加）となりました。

流動負債は4,394百万円（前連結会計年度末比347百万円の増加）となりましたが、これは、主として支払手形及び買掛金が206百万円、1年内返済予定の長期借入金が114百万円増加したことなどによります。

また、固定負債は4,674百万円（前連結会計年度末比544百万円の増加）となりましたが、これは、主として社債が139百万円減少したものの、長期借入金が673百万円増加したことなどによります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,327百万円（前連結会計年度末比22百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期（累計）及び通期における連結業績予想は、平成24年5月11日に公表しました「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した数値から修正しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,762,825	2,639,437
受取手形及び売掛金	537,163	537,956
商品及び製品	1,209,995	1,299,434
前払費用	183,900	198,151
繰延税金資産	3,744	2,252
その他	61,137	62,363
貸倒引当金	△4,570	△4,546
流動資産合計	3,754,197	4,735,049
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	1,536,445	1,597,843
建物及び構築物(純額)	1,762,644	1,725,021
土地	881,217	881,217
その他(純額)	300,489	301,467
有形固定資産合計	4,480,796	4,505,550
無形固定資産		
のれん	340,531	334,654
その他	18,363	17,465
無形固定資産合計	358,894	352,120
投資その他の資産		
投資有価証券	76,821	76,041
建設協力金	746,423	728,055
差入保証金	1,378,898	1,373,177
繰延税金資産	302,601	256,316
その他	319,904	315,741
貸倒引当金	△25,564	△25,564
投資その他の資産合計	2,799,085	2,723,767
固定資産合計	7,638,776	7,581,439
繰延資産	88,539	80,056
資産合計	11,481,513	12,396,545

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,432,348	1,639,056
1年内返済予定の長期借入金	922,588	1,037,555
1年内償還予定の社債	1,172,100	1,159,600
未払法人税等	17,612	29,872
その他	502,325	528,722
流動負債合計	4,046,975	4,394,806
固定負債		
社債	1,985,200	1,846,100
長期借入金	1,391,925	2,065,264
退職給付引当金	63,367	65,718
役員退職慰労引当金	22,060	27,576
資産除去債務	64,636	65,167
その他	603,229	604,844
固定負債合計	4,130,419	4,674,670
負債合計	8,177,395	9,069,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,456,678	1,456,678
資本剰余金	1,498,985	1,498,985
利益剰余金	248,237	264,952
自己株式	△37,740	△37,773
株主資本合計	3,166,160	3,182,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,765	8,001
その他の包括利益累計額合計	8,765	8,001
新株予約権	31,274	33,545
少数株主持分	97,918	102,679
純資産合計	3,304,118	3,327,069
負債純資産合計	11,481,513	12,396,545



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	4,573,116	4,412,173
売上原価	3,189,658	3,013,414
売上総利益	1,383,458	1,398,758
販売費及び一般管理費	1,283,414	1,246,576
営業利益	100,044	152,182
営業外収益		
受取利息	5,835	5,765
その他	2,943	2,835
営業外収益合計	8,779	8,601
営業外費用		
支払利息	20,559	19,530
支払保証料	11,355	9,654
その他	21,690	18,670
営業外費用合計	53,604	47,855
経常利益	55,218	112,928
特別利益		
投資有価証券売却益	292	—
その他	360	—
特別利益合計	652	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	344	—
特別損失合計	344	—
税金等調整前四半期純利益	55,526	112,928
法人税、住民税及び事業税	5,645	10,344
法人税等調整額	25,712	47,792
法人税等合計	31,358	58,136
少数株主損益調整前四半期純利益	24,168	54,791
少数株主利益	780	4,761
四半期純利益	23,388	50,030

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	24,168	54,791
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	8,818	△764
その他の包括利益合計	8,818	△764
四半期包括利益	32,987	54,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,206	49,266
少数株主に係る四半期包括利益	780	4,761

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。